

10 森のおくりもの

2010年 10月号

オオマツヨイグサ (アカバナ科)



イラスト：菅原みずえ (若林区)

神無月、今月は全国の神様が出雲の出雲大社に出向き、一年のことについて話し合いがもたれるとのこと、太白山の神様も会議に出席し、太白山の現状を報告し、諸々の問題点について他の神様から問題解決のアドバイスをいただいていることと思う。願わくは、太白山に生息する種々の生物たちが今最も危惧されている温暖化の影響を受けないで、平穏に暮らせるよう力添えをお願いしたいと思っている。

(武智)



胸に三日月の紋のある熊 ツキノワグマ



9月5日15時頃、太白山山頂付近でツキノワグマが目撃されました。今年に入り観察の森に寄せられた目撃情報は、2件目となります。県内では、出没件数は344件（9月11日現在）となっているようで、異常出没のあった平成18年度同期を上回る出没件数となっており、注意が必要です。そこで、今回の生きもの図鑑では、『ツキノワグマ』をご紹介します。

【ツキノワグマ】

分 布：本州、四国、（九州）
（九州では2001年に5月に絶滅宣言が出された）

体 長：110～130cm

体 重：40～130kg

嗅 覚：非常に優れている

聴 覚：非常に優れている

視 覚：あまりよくない

行動圏：オス（60～110km）

（年間）メス（30～50km）

食べ物：主に植物食で、春～夏は山菜や昆虫等、秋はドングリや果実等を大量に食べて脂肪を蓄える。

冬 眠：11月下旬～12月に、樹洞や木の根元にできた穴等で冬眠する。

出 産：交尾期は5～7月だが、冬ごもり中（2月頃）に、1～3頭の子を出産する。



ツキノワグマはドングリやブナの実が不作でエサが不足すると、行動圏を拡大し、人里まで出没することが知られています。

普段はおとなしい生きものですが、そんな時、人と出会ってしまうと不幸な事故が発生します。クマ対策の基本は『クマと出会わないこと』です！ 出没情報に注意し、熊鈴やラジオなどで自分の存在を知らせましょう。

※詳しくは、観察の森に置いてある、仙台市のチラシをご参照下さい！

その他、仙台市や宮城県のホームページにも掲載されています。

【文・イラスト：咲間】

クイズ

【もんだい】 次の動物のうち、「走る速さ」の瞬間的な最高速度が一番早い動物はどれでしょう？

① ノウサギ



② ツキノワグマ



③ ヒト



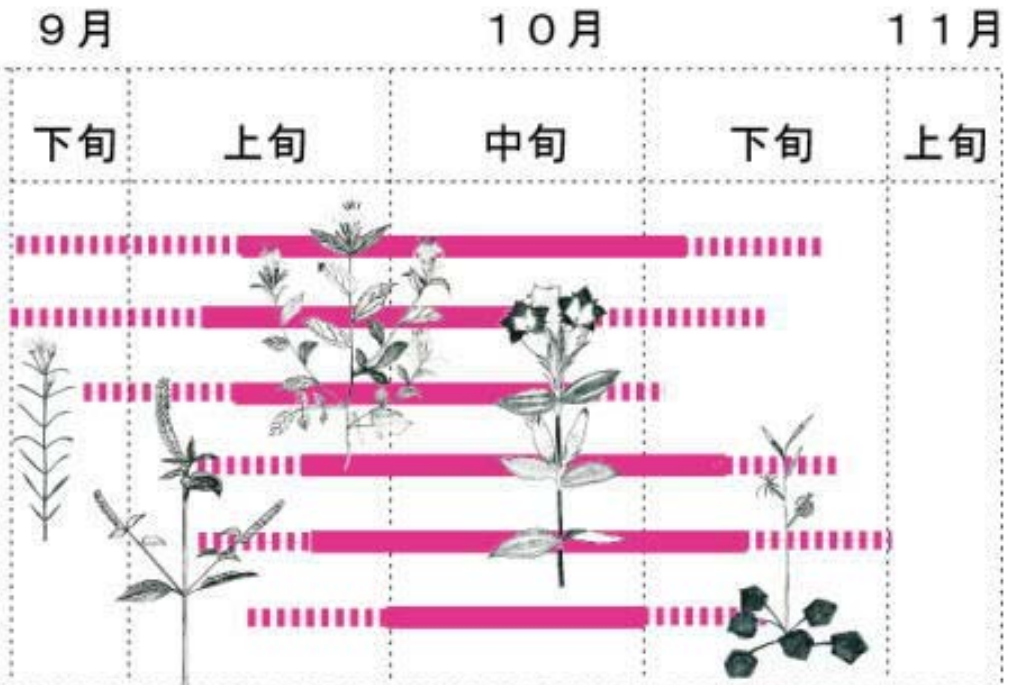
【答えは、6ページ ㊦】

10月の生物ごよみ (過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

植物

ヤクシソウ
オケラ
センブリ
リンドウ
ナギナタコウジュ
キッコウハグマ



今年は例年に比べるとかなり暑い日が続き、記録的な残暑になりました。しかし9月も後半になれば毎日過ごしやすくなりやっとなんだなあ〜！と感じる今日この頃です。

気づけばセミの声もきかれなくなり、夜になればコオロギやツユムシの鳴き声になり響きます。野山の花はキッコウハグマの開花が最後になり今年の開花情報も終わりです。

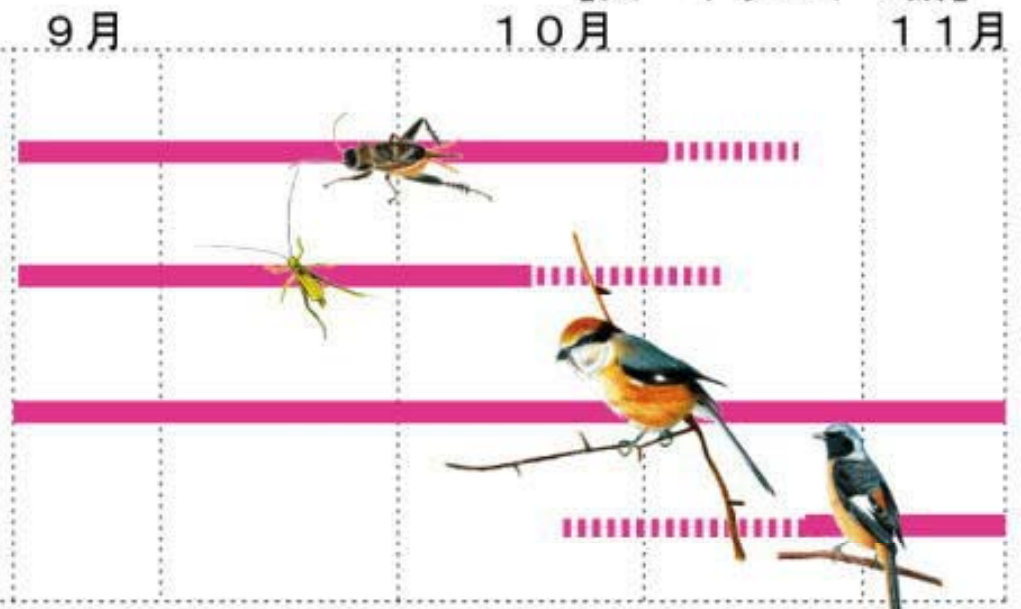
昨年は10月16日に聞くことができた冬鳥の一番手ジョウビタキの鳴き声も今年は9月24日にその声がきかれたとのことでした。

(林レンジャー談) 今年は三週間近く早かったようです。

【文・イラスト：齋】

昆虫・その他

エンマコオロギ
カントンの鳴き声
モズの高鳴き
ジョウビタキの鳴き声



みんなで自然観察

イベント報告
秋の昆虫観察

9月18日の観察会は、自然・昆虫写真家の中瀬潤さんに、講師をお願いしました。中瀬さんは、普段は専門のトンボを中心に、自然や昆虫を対象として撮影活動を行い、本の執筆もしています。今回の観察会では、中瀬さんの丹念な下見のおかげで、実物と写真を見比べながらの観察ができました。小さな昆虫も拡大すると迫力満点です。もう、セミの声はほとんど聞かれず、エンマコオロギやカンタンなど、バッタの仲間の鳴き声が秋を感じさせていました。市道からウルシ広場に入ると、ナナカマドの木で、ナシカメムシが交尾していました。幹にはゼリーのような卵が着いていましたが、孵った幼虫は、卵の殻を食べるのだそうです。ザトウムシがたくさん這っており、子供が脚の数を数えると、8本ありました。中瀬さんが、「クモと同じ8本だね」と言うと、子供が「タコも8本！」と言い、周囲で笑顔がこぼれました。ヨシの湿地でオオアメンボやシマアメンボを見てから蝶の野原へ向かうと、ミドリヒョウモン、メスグロヒョウモン、キタキチョウ、スジグロシロチョウが飛んでいました。蝶の野原だけは、その名に偽り無しという感じです。いつもはカワラタケにしか目のいかない枯木には、カタモンオオキノコムシが隠れていて、そんな場所の小さな虫まで見つける中瀬さんに、みんな感心していました。40種ほどの虫たちを観察し、最後にセンター前のカラタチでクロアゲハの幼虫を見つけました。子供たちは、臭角を伸ばし臭いにおいを出す幼虫を、一番気に入ったようでした。イモムシは、触るともによもよしていて気持ちいいし、臭角を出すしぐさも面白いですが、あまりいじりすぎて、疲れさせないようにお願いします。

胸部背面の紋
(眼ではない)



クロアゲハの幼虫

臭角は、頭部でなく前胸背面先端から出る。
クロアゲハは紅色。
ナミアゲハは橙黄色。

こっちが眼



中瀬潤氏

今回は森で昆虫観察しましたが、みなさんの家の近くの草むらにも、きっと虫がいるはずです。ぜひ、探してみてください。

【文・イラスト: 林】

10月 館長の独り言

10月、今月は私事ですが何十回目かの誕生日にあたり、太白山で大過なくこの年を迎えることが出来たことに思いを新たにしている。これまでのことを振り返って考えてみると、なぜか山に縁があり、もしかしたら前世は山伏とか修験者として山に関わっていたのではないかと思いをめぐらしている。

貴重な紙面を借りて紹介させていただくと、関わりの始めの山は九州福岡県と大分県にまたがる霊山で日本三大修験道の山英彦山（ひこさん）である。

中国からの引揚船の中で生まれたとき、お山の名前をつけた船（英彦丸）の一字をいただいて船長さんがつけてくれたのだが、ありがたいお山の名前からつけてくれたことがお守りになって、いろいろな災難から守ってくれたのではないかと思っている。

二番目は、山自体がご神体である奈良県桜井市三輪にある三輪山である。

小さい頃、三輪山の中腹にあるお寺のおじいちゃん・おばあちゃんのところにお泊りがけでよく遊びにいき、朝のお勤めの後、木魚を叩いて怒られたり、境内にいるデンデムシやトンボを捕まえたり、おばあちゃんが滝に打たれる修行中、滝のそばを飛んでいたムカシトンボを追っかけたりしていたのだが、このようなことが今の生きもの相手の仕事につくようになったベースを作ってくれた山ではないかと思っている。

三番目は永年勤めた仙台市八木山動物公園のある八木山である。生きもの相手の仕事がしたいと願っていたことが実現し、多くの動物相手に試行錯誤の連続だったが、担当している動物に子供ができた喜びや、ケガや病気で治療の甲斐もなく亡くなる悲しい思いを経験させてくれた所である。

最後は信仰の山太白山である。約600万年前に出来、現在は仙台市民の憩いの場として、また、自然観察・自然保護啓蒙の場として親しまれているが、四季折々にはいろいろの動植物達が目を楽しませてくれる。最後のお勤め場所には役不足かもしれないが、山関連の場所に関われとのお導きだと思って一生懸命役目を果たしていきたいと考えている。

神無月の今、太白山に生きる動植物が恙無く、お山を愛する人たちにお山の神様が帰るまで日々変化する姿を見せてもらいたいものだと思っている。

【文：武智英生】



10月の催し



「太白山の秋を感じて」

秋の太白山をゆっくり歩きながら自然観察します。

10月23日(土)
10:00~15:00

【講師】井上 薫 氏
(宮城植物の会 幹事)
【持ち物】観察用具、雨具など
【定員】20名

申し込み⇒ 7日9時から電話にて

クイズのこたえ

「走る速さ」の瞬間的な最高速度が一番早い動物は

A ノウサギ (65 km/時) でした。

ちなみに、B ツキノワグマは40 km/時、C ヒトは100メートル10秒で走るトップアスリートで、36 km/時です。

(※今回の走る速さは「瞬間的な最高速度」ですので、走る距離によって速度は変わります。)

このようにクマは人よりずっと速く走ることができます。逃げるものを追う習性もあるため、万が一クマに出会った場合、走って逃げるのは大変危険な行為とされています。

「ガイドウォーク」

10月のテーマは『たねの旅立ち』です
(毎週日曜日)

3日、10日、17日、24日、31日

午前の部 → 10:00~11:30

午後の部 → 13:30~15:00

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

休館日

4日、12日、18日、25日、

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年10月号 (毎月1回5日発行)

発行: (財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133